

川口バレーボールクラブ 安全対策マニュアル

はじめに

クラブの運営においては、常に怪我/事故の可能性はある。できる限り怪我/事故を起こさないようにし、怪我/事故が起きたときに被害を最小限にすることが重要であり、普段の運営時より常に準備しておく必要があります。

「安全確保のための指針」

○選手にルールを守ることを教えよう(安全指導)

○危険を感じたらすぐに安全対策をとる

○最悪を想定し、活動の中止を恐れない

「救助救命に対する指針」

○人命救助を最優先する

○医療機関への搬送が必要な場合は速やかに対応する

○事故の事実関係を把握する

1. 事故を起こさない環境づくり

①コーチ/保護者/選手への安全教育

○体調の悪いときは、練習/試合への参加をやめる

○練習中/試合中に気分が悪くなった場合は休憩をとる

②設備や用具/気象情報の確認

○設備や用具の安全を確認する

○熱中症対策ガイドライン

地震対策

建物から離れ安全を確保し、携帯電話などで情報収集する。津波警報が発表されたらただちに河川から離れる

③練習/試合時の安全対策

○怪我をしたら ~現場で行える初期治療~、筋の打撲、脳しんとう

④自転車移動時の安全対策

○交通ルールを守り、大人数になる場合は小グループに分けて移動する。

○逆走/並走しない、させない。

2. 事故が起きたときの対策

①基本的な流れ

事故現場では指導者を中心として全員が協力し、救命救急措置と病院や救急車の連絡を行う。

②事故の説明と記録

いつ、どこで、どのようにして、後で説明できるよう記録を残す。

③緊急時の連絡

指導者は緊急時に緊急連絡先宛に連絡をとる。

3. 本マニュアルについて

スタッフと会員は本マニュアルの内容を理解した上で安全な活動の運営にともに協力をしていく。また本マニュアルは必要があれば更新を行い、より内容のよいものを目指していくこととする。

